

第7回 能美市タウンミーティング

平成29年7月11日（火）19:30～21:30

根上総合文化会館

【司会】

ただいまから浜小学校浜筋地区の皆様とのタウンミーティングを始めさせていただきたいと思います。

まず初めに、ご参加の皆様を代表いたしまして、中町町内会長様にご挨拶をいただきたいと思います。

【中町町内会長】

この冒頭の挨拶というのは、初めは根上地区会長さんをお願いしようと思っていましたが、確認しますと、地区代表が挨拶をするようにということで決まっておりましたので、よろしく願いいたします。

きょうは井出市長をお迎えいたしまして、浜筋地区のタウンミーティングということで始めさせていただきます。浜筋6地区から皆さんお集まりいただいております。

5月26日に、福岡地区のタウンミーティングがありまして、見学させていただいたのですが、福岡地区は福岡地区のやっぱり特徴のある意見、そういうものが出ていたと思います。

きょうは浜筋地区ということで、また浜筋独特の特有の意見、そういうものが大いに出ると思います。

きょうは貴重な、市長さんと膝を突き合わせての意見交換ということで、井出市長さんの人間性、それをまた勉強させていただきまして、これからの時間、有意義な時間を過ごさせていただきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

【司会】

では、次に、井出市長が皆様にご挨拶を申し上げます。

【井出市長】

日中のお疲れのところ、大勢の皆様にお集まりをいただきましたことに、まずもって御礼を申し上げたいと思います。

5月26日を皮切りにこのタウンミーティングを始め、これまで町会・町内会を対象にしたものを5回、そして女性の方を対象にしたものが1回ありまして、きょうが7回目です。

これからもこの町会・町内会を対象にしたタウンミーティングを重ねつつ、そしてテーマごとのタウンミーティングもあわせて開催していきまして、今年度中に24回のタウンミーティングをさせていただく予定です。

それで、まず冒頭に、何でタウンミーティングやっているのか、それから、その狙いは何かいうところを最初に少しだけ語りたと思います。

私の政治信条、礎というのが「現地現場主義」「市民ファースト」であり、それを支える、礎になるのがまさにタウンミーティングです。片仮名、英語で書いてありますが、要は意見交換です。

この能美市の最大の課題というのは、これは日本全国どこでもそうですが、人口減少問題です。現在は約5万人ですが、2040年には4万8,800人を目指しています。そして、人口が減るだけではなくて、高齢化率も上昇し、今、高齢化率というのは25%ですが、2040年には32%になるということです。

それに対して地域の魅力を発掘、発進をさせて人口減少問題に対していろんな政策を打っていこうということです。

その地域の魅力を発掘、発進することでどんなことが生まれていくのかということです。1つは、移住定住の促進です。少子化というのは、いわゆる子供が生まれる数が少ないということです。合計特殊出生率は、生涯女性が何人お子さんをお産みになるかという数字ですが、日本の平均が約1.45人つまり、2人になれば人口が同じになりますが、1.45人であれば減っていきます。能美市では、今は1.73人です。一番人口が多い東京が1.24と言われており、大都市では子供が生まれる数が少ない。今、地方創生という言葉がありますけれども、地方に行くほど子育て環境がすばらしい、それから子供が産まれる数が多いということで、移住・定住を促進しましょうということです。まさにこの能美市の魅力を発掘、発進させていって移住・定住を促進して、人口減少に歯どめをかけて、そして人材の確保をしていこうということです。

そして、移住・定住を促進するには、やはり住みよいだけではいけないわけでございまして、働く場所を確保していくために、企業誘致を進めましょう、地場産業の振興を図りましょうということです。

そして、この企業誘致、地場産業を振興させるということは、財源の確保にもつながります。その辺は後からまた触れさせていただきます。

それから、ふるさと愛の醸成も図っていきたくと思っています。例えば根上中学校を卒

業して、県内の高校に進学し、首都圏の大学に行き、そのまま首都圏の企業に就職をしようと思っている根上の子供たちに、もう一回浜筋に戻ってきて、一緒に住もうということを進んでいくために、この根上というところはすごい住みよいとこだよと伝えて行きたいと思います。

例えば電気代について、北陸電力管内は日本一電気代が安いのです。それから、子育てするのに医療費が高校生まで無料です。今我々にとっては当たり前ですけども、全国ではそんなところは本当に指折り数えるほどしかないわけです。そんなことを小学校、中学校のうちから教えていって、ふるさと愛を醸成し、そしてU Iターンを促進しましょうということです。

能美市というのは住みよさランキングが全国第9位でした。去年が10位だったのですが、順位が1つ上がりました。これで4年連続ベストテン入りしていますが、魅力度や認知度は全国で400番台だったり、600番台だったりします。やはり移住・定住を促進するためには、能美市という名前をもっと売っていかなければならないということで、こんなポスターをつくりました。

それから、私たちは、簡単に「のみし」と読めますが、東京の人にこのまま漢字で見せると、皆さん「のうみし」と読まれます。そんなことも改善したいという思いもあります。

藤田誠さんといひまして、大成町ご出身のアートディレクターで、アサヒビールのコマーシャルをつくっている大変有名な方です。その方と梅佳代さんという能登町出身の写真家の方に、能美市の魅力を発信するポスターをつくってほしいというお願いをしましたら、能美市の魅力というのは子育てがしやすいこと、そして子供たちの笑顔だろうということで、辰口中央小学校の子供たちのポスターをつくってもらいました。

今まで東京駅、京都駅、大阪駅、金沢駅に張ったり、それから高速道路のサービスエリアに張ったりして、能美市のことをPRしてきました。

ビデオも7本つくりました。能美チャンネルで1時間に1回流しています。このように能美市のことを一生懸命PRしているところです。

能美市の魅力について、皆さんもいろんな魅力を感じていらっしゃるのだらうなと思いますが、私が感じた魅力は、例えば、子育て環境が素晴らしい。福祉、医療の制度が充実をしている。自然景観が大変豊かである。それから、自然災害が少ない。震度4の地震というのは10年前の能登沖地震以来、心当たりはありません。それから、台風が来ると天気

予報で言っている、いつの間にか霊峰白山が守ってくれている。

それから、コンパクトで町会・町内会の組織がしっかりしている。能美市というのは84平方キロメートルしかなく、そこに74の町会・町内会があります。その町会・町内会長さんにいろいろご尽力していただいているおかげで、我々の市政も運営させていただいているということで、本当に日ごろから感謝を申し上げているところであります。

それから、文化、各種団体の活動が活発である。恐らく、この根上総合文化会館を予約しようと思っても、本当にいろんな行事が入っており予約ができない。それだけ地域のコミュニティがしっかりしている、それから文化レベルが高いということなのだろうと思います。

それから、ものづくりのまち。交通アクセスが充実している。特産品がいっぱいある。それから、観光資源もある。それから、北陸先端大学院大学、寺井高校がある。それから、各種ランキングが上位ということで、そんな魅力があるわけでございます。こんなことをいろいろ発信して行って、移住・定住を促進させ、交流人口を拡大する。企業誘致を進める等々やっていきたいと思っています。

ただ、いいことばかりではございません、厳しい財政状況ということでございます。やはり福祉費の比率がどんどん上がっていているということで、いかに財源を確保していくかということであります。

それから、アセットマネジメントと書いてあるのは、市内のいろんな設備や施設が老朽化しており、それを直していく費用が今から結構かかります。

市内には約430キロメートルの上水道の管が張りめぐらされており、一気に直すことができればいいのですが、今から大体100年ぐらいかかるという試算をしています。

それから、橋やこの根上総合文化会館も傷んでいますので、ことしもいろんなところを直す予定をしています。

それから、タウンミーティングで一番たくさん皆さんからご要望、ご意見をいただいているのは、のみバスについてです。

それから、広域連携の強化ということで、人口が減っていくと、能美市単独では行政サービスを行えないということが出てきます。近隣の川北町や小松市、白山市と連携を強化させて、行政サービスを維持、さらに発展をさせていかななくてはならない、そんなことが課題だと思っています。

市役所の1階には今まで九谷焼等々が置いてあったのですけれども、そこに能美市の会

社でつくっている製品や特産品をここに並べようと思っています。それから、絵を並べたり、それから生け花展をやったりと多くの市民の方に今まで以上に市役所にお越しをいただいて、市のいろんな魅力に触れていただく。それから、市役所には県外の方もたくさんいらっしゃいます。そんな方にも見ていただくつもりでございまして、市のいろんな魅力を発信することをトータル的にシティプロモーションと申し上げまして、活動を今一生懸命やっているところであります。

以上が私からのご説明です。皆様方からいろんなご意見、ご要望を頂戴して市政の発展に尽くしていきたいと、そんな思いでございます。きょうは限られた時間ではございますけれども、タウンミーティング、よろしくお願ひします。

【司会】

それでは、きょうのテーマであります“井出市長と語ろう「10年後の未来」”をテーマに皆様方からご提案、ご意見を頂戴してまいりたいと思います。

① 観光・市のブランド化

【司会】

まず1つ目のテーマは、観光・市のブランド化です。ご発言いただける方、挙手をお願いいたします。

【道林町民】

当町は、弁慶謝罪の地であると言われており、弁慶が義経に謝罪している銅像があります。また、歌舞伎役者によるお手植えの松もあるところから、時々遠方から訪れる人も見かけます。訪れた人が遠い昔の出来事に思いをめぐらせたりできるよう、例えば休憩場などを設けて、また公園として整備をしたらどうでしょうかと思います。

また、市の観光案内に取り上げることにより、訪れる人がふえるのではないかと予想されます。そして、大きな保育園をこの地に迎えたことも影響してか、最近、周辺には若い世帯も大変ふえています。子育ての憩いの場または交流の場として活用できるのではないかと考えますので、未来のまちづくりに向けて提案いたします。

【井出市長】

私もその銅像が建っている前の公民館がその雰囲気合った公民館となっているということ存じ上げています。

やっぱりまず、あの弁慶謝罪の地のあの観光資源をさらにもっとPRをしていくという

ことが重要ではないかなと思っております、小松市の安宅の関と連動して発信していくことが私は良策なのではないかなと考えております。今、オール加賀会議という、そういう組織体があります。そこで、この弁慶謝罪の地を一緒になってPRすることできないかということをお願いしてみたいなと思っております。

それから、ここに市勢要覧というものがあります。ここにもこの銅像を大きく取り上げておまして、これも活用しながらさらにPRを重ねていきたいなと思っております。

ただ、その一方、たくさんの方がお越しにいただいているというお話もあり、交通アクセスのお話がありました。あのあたりを通っているのみバスの乗車人数を調べると、平成28年の調査で、1週間で3人、これが実態であります。もちろん、車でいらっしゃる方もいると思いますが、まずはPRをしていくということが大事なのではないかなと思っております。たくさんの方が訪れるようになれば、周辺整備ということもやっていきたいなと思っております。

トイレのお話ありがとうございました。トイレに関しては、青年の家や体育館、それからパークゴルフ場があるので、何とかそちらをご利用いただけないかなと、当面の間はそうしてやらせていただきたいなと思っております。

それから、公園の整備ということですが、あの辺にも今ほど申し上げたパークゴルフ場やテニス場などもありますので、まずはそこを利用していただいて、さらに利用者がふえていったときには、今ご提言いただいているようなことも考えていきたいなと思っております。

② 生涯学習の推進

【司会】

次は、生涯学習の推進です。ご意見のある方お願いします。

【山口町民】

地域の特徴を生かしたまちづくりについてお願いいたします。能美市には、5キロ余りの海岸があります。山口町にはグリーンビーチ、砂浜があります。以前は、シーズンになれば海水浴場になって、たくさんの人でにぎわっていたのですが、いつの日からか海水浴場も閉鎖されて、グリーンビーチの存在が薄れてきております。

私たち子供のころは、夏休みになれば、毎日のように後ろの浜で泳いだり遊んだりして育ってきました。今の能美市の子供たちにもそんな体験ができたらいかなと思っていま

す。

そしてまた、グリーンビーチをもっとアピールしていただいて、皆さん、たくさんの方が活用できるような場になればいいかなと考えております。それにつきまして、どうしてお考えでしょうか。

【井出市長】

私も、やっぱり能美市の魅力の一つだと思います。私が小さいころは今の寺井の図書館があるところに北陸鉄道の駅がありました。新寺井まで電車に乗って、歩いて大浜の海岸に行ってよく泳いだ記憶もありますし、それから子供ができてからは車に乗って山口の海岸に行ってバーベキューをしながら海水浴をした、そんな思い出もあります。

調べましたら、毎年、4,000人余りの方があのグリーンビーチを利用していたという最盛期もあったそうです。ただ、平成25年になりまして、県内の内灘海岸や羽咋川河口付近で離岸流の影響で遊泳者の死亡事故が相次いだということも受けて、能美市でも山口のグリーンビーチを調査したところ、やはり離岸流があつて、危険だということで遊泳禁止になり、今も同じような状態ということです。なかなかそこを遊泳してもいいよという判断ができない状況です。

ただ、せっかく海があるので、やっぱり何か利用したいなという思いもあります。あの辺に今ほど申し上げたように、キャンプ場があつたり、テニスコートもあつたり、それから泳げませんが、海岸付近まで行って海を眺めることもできます。

それから、サイクリングロードもあります。私もこの間、大浜から山口までずっと歩いたのですが、本当に見晴らしもいいですし、気持ちがいい環境です。

ですから、泳ぐことはちょっと今現状では難しいのですが、なるべく海に親しんでいたような、そんなことを魅力の発信として市民や市内外の人たちに能美市の海はこんな楽しみ方ができるということを発信していきたいと思っています。

それから、海岸の松林を守るという取り組みも能美市はしっかりやっていたと思っています。高速道路ができたことによって、白砂青松の雰囲気がちょっと見られなくなったということで、例えば高速道路の防音壁のところに根上中学校の子供たちが絵を描いたり、食事をしたりしてくれている。そうすれば、あの根上中学校の子供たちが大きくなったときに、自分たちが植えた木がどれぐらい大きくなったのかなと見にきたり、それから自分たちが描いた絵がどうなっているのかなということで見にきてくれたりすると思うので、そんな活動もしながら、能美市の海というものを大切に、そして発信していきたい

いと思っています。

【大浜町民】

生涯学習の推進というところで、能美市は旧町から引き継がれました素晴らしい図書館が3館あります。蔵書の内容もすばらしく、各館で独自のイベントも開催していると思いますが、もう少し市民に周知する必要があるのではないかなと思っています。市長のご意見をいただければと思います。

【井出市長】

本当に各地区にある図書館、立派だなと思いますし、試験時期や夏休みになると多くの子供たちが勉強している雰囲気があったり、それからコンサートをしたり、本当に市民の方に親しんでいただいているのだなと思っています。

どんなPRをしているのかということなのだろうと思いますが、私も今回のご提言を受け調べましたら、結構いろいろしています。

例えば、10カ月になったお子さんがいるご両親が健診に来られたときに、図書館の方が図書館の案内をしています。例えばパンフレットを持ってきたり、それから利用カードの申し込みをしてもらったり、それからそこで読み聞かせをしたりして図書館の魅力を伝えたり、保育園や小学校や中学校にも図書館の職員が行って、図書館のことをPRしたりしています。

それから、「広報能美」、これは1カ月に1回出ています。毎月この図書館のことも取り上げていますし、それからホームページにも出すようにしています。そのおかげなのかどうなのかということもありますが、実は能美市と同じような人口規模の73市の状態を調べると、貸し出し数は全国で第2位です。ある程度は浸透しているのではないかなと思っています。

もし逆にこんなところが足りない、こんなPRすればいいのではないかというところがあれば、また教えていただけないかなと思っているのですが、いかがですか。

【大浜町民】

こちらとしては利用促進が図れる形のものができるればいいかなとは思いますが、各館、今のところは、辰口ですと歴史的なこと、寺井地区は子育て、根上は学習ということでいろいろ特徴があるところは理解できます。そういうふうに周知されているところはあ

いますが、そこからも一つ、今の能美市の持っているアピールの中にも入るのではないかなと思っていましたので、少し意見を言わせていただきました。

【井出市長】

ありがとうございます。ぜひその能美市の魅力の一つとして、こんなすばらしい図書館があるよということも発信させていただきます。

③ UIターンの推進

【司会】

次のテーマは、UIターンの推進でございます。

【中町民】

UIターンの推進分野での提案ですが、能美市では企業誘致が進んでいるように見えます。居住推進にも重要な問題と考えています。住宅資金を考えますと、新築を決断するのが難しい状況です。そのためには、中古住宅を積極的に活用してはいかがでしょうか。

その中古住宅購入での対策がありましたら、ぜひ実施していただき、今後の空き家が増加することへの対策の一つにもなるかと思いますが、いかがでしょうか。

【井出市長】

おっしゃるとおりでございます。本当に空き家、中古住宅をどう活用していくかというのは大変大きな課題だと思います。

新興住宅街ができますと旧の集落の若い人たちがそっちに行ってしまうと、旧の集落のところがだんだん寂しくなってくるというような状況は、どこの地区も同じで、旧寺井町のメイン通りと言われている私の家の周りも実は同じような状態です。本当に何とかしなければならぬと思っていますところでは。

実際に空き家の実態調査をすると、平成25年度で、ちょっと前の数字ですが、能美市全体で約430軒の空き家があるそうです。その空き家をどう活用していくかということで、空き家バンクというものを開設し、空き家になったうちを誰か利用する人がいませんかということで情報をそこに登録するのですが、その空き家バンクの登録数が今のところ12件しかありません。本当はもっとたくさん空き家があるはずなのですが、さまざまな理由があり、まずはその空き家バンクの登録数をふやしていくということを今やっていかなければならないと思っています。

それから、空き家セミナーをことし開催をさせていただく予定で、空き家を持っている

方、それから空き家、中古住宅に住みたいという方をマッチングできる、促進するセミナーを行いたいと思います。これは白山市と合同で、今のところ、7月23日に行う予定です。それから、市単独での開催も秋ごろから予定しており、またご案内をできればなと思います。

それから、助成制度ですが、これ、近隣の市町の助成制度を見ていると、比較的能美市は充実しており、手厚くさせていただいています。例えば空き家を改修したいという場合、限度額50万円ですけれども、その改修費の約2分の1を補助する、それから空き家に住むときに掃除をしなければならないというところでも、少し助成しています。それから、解体をする場合の助成金も能美市にはあります。こういったことももう少し積極的にPRして、中古の住宅に住みたい、それから空き家の活用を図りたいという方のマッチングを促進していきたいなと思っています。

④ 公共交通の充実

【司会】

次は公共交通の充実です。ご提言、ご意見のある方いらっしゃいませんか。

【浜町民】

先ほどからいろいろとテーマに上がっている議題ですが、のみバスについてです。先ほどから聞いている限り、どう見てもそれほど利用されているようには見えません

一つは、もう少し経済的、エコの面から見ても小さいものに変えるということを検討できないのかなということです。

もう一つは、朝に、のみバスが通っているところをいつも通勤で使っていますが、がらののみバスの横を小学校、中学校、高校生が自転車または徒歩で歩いていくわけです。そういうのを見ていると、せっかくバスが通っているのに、もう少しうまく利用できないのかなと思いましたので、提案させていただきました。

【井出市長】

本当にタウンミーティングで一番多い案件が公共交通を何とかしてくれということです。

それで、ちょっと今から利用実態を述べますが、その前に、市が何にもしていないのかなということです。実は本当にいろいろ調査しています。

まず、アンケートを市民の皆さんにとり、希望をとって、その希望に沿って、一応ダイヤとルートは決めています。決めた後も、市の職員が実際にそのバスに乗って、乗客にもアンケートをして、どうですかとか、何か不都合ないですかと聞いて、いろいろ積み重ねてできているものが今のダイヤとルートなのですが、まだ皆さんからいろいろご意見をいただくというのが実態です。

それで、本当に恥ずかしいのですが、利用者数を言うと、のみバスというのは、連携バスというのと循環バスがあります。この連携バスというのは、1便当たりの平均利用者数が平日で10.4人、土日で8.1人です。根上循環バスは1便当たり、平日5.2人、土日3.2人ということであり、本当に何とかしたいなと、しなければならぬという思いです。

今、バスを6台持っています。それを循環と連携で使っています。今のバスのサイズは、定員33人乗りで、座席数が12席です。がらがらのときもあるのですが、例えば朝、能美根上駅から寺井高校に行くときは、もうたくさん乗っておられます。やっぱりあれだけの需要もあるので、なかなか小さくできないというのが現状です。それならどうするかという話ですが、例えば「えんがわ」さんという、ボランティア団体があるのですが、高齢者の人がどこか買い物に行きたいので乗せてくれないか言ったときに、団体が持っている車に乗ってもらって個別に対応するというをしています。オンデマンドということをやっていますが、やはりのみバスはのみバスとして公共交通機関として広く皆さんに乗っていただけるようなものにして、個別の対応はオンデマンド型の組織体にしていくことで多くの市民の皆さんのご要望にお答えしていきたいなと思っています。

そこに歩いておられる小学生、中学生に「あんた乗っていきまっし」ということになるのと、これは運行規程がありまして、なかなかそうするわけにいかないの、どうしても停留所から、料金を払って乗ってもらわないといけません。こうやって皆さんからのいろいろなご要望を聞きながら、本当に皆さんにご満足いただけるような公共交通にしていくよう、これからも頑張っていきますので、何とかご理解いただけないでしょうか。

【中町民】

今ほど、のみバスのことでかなりご苦労されている中で、恐縮です。私ごとではございませんけれども、一つだけお尋ねしたいと思います。

職場の中で能美市に住もうかなという方がいらっしゃったそうです。2年後、3年後、子供が高校生になります。安全面、最近では能登のほうで悲惨な、女の子がスマートフォ

ンでつながったのはいいけれども、結果が殺されたということがありました。ですから、能美市に住みたいのですが、通える高校は今のところ近くで寺井高校、それ以外ですと小松の方面には約30分かかります。私立を入れると、電車では約30分、駅に着いて学校まで約30分かかりますので、そういったことも含めて、昨今は積雪も余り多くないですが、登下校時に安全安心して通学できるということと、その前に安心して住める能美市にしてほしいということを幾つか聞いております。この点、市長様のご意見をお願いしたいと思っております。

【井出市長】

高校生の交通アクセスを何とかしたらどうだろうということだと思います。特に辰口の地区の方からそういうお声をたくさんいただいております。

ご当地は恐らくJR能美根上駅があるので、それを利用されたり、バスを利用されたりするのでしょうか。特に辰口のほうから小松のほうの高校に行くのに不便だ、金沢の高校に行くのに不便だというお声をたくさん聞いています。

本当は、そこにこういう路線バス等を設けていけばいいですが、やはり利用者数がなかなか伴わないということが実態であり、そうなるとうどうするかというと、学校やPTAさんが子供たちのためにバスを用意するという施策をとっています。これについてこれまででは最高額で1万円の補助だったのですが、今年度から2万円にしました。できるだけそういったお声に対して対応できるようにしていきたいなと思っています。

それから、地元には寺井高校がありますので、寺井高校に通っているお子さんの定期代を少し安くする施策もとりながら、交通弱者と言われるのは高齢者だけじゃなくて、やはり学生もいるので、そんな方にも十分満足をいただけるとは言いませんが、できるだけ支援をしていきたいなという思いの中で、今ほど申し上げたようなことを進めていきたいと思っています。

⑤ 高齢者福祉の充実

【司会】

次のテーマは高齢者福祉の充実です。ご提言、ご意見のある方いらっしゃいませんか。

【浜町民】

能美市の人口の現状と今後の推移の予測、さらに少子・高齢化の対応についてお聞かせ

ください。特に高齢者の介護サービスや援護についての施策の充実が求められると思いますが、能美市の取り組みや目標について、また民間の活用計画等についてお聞かせください。

【井出市長】

まず、人口動態がどうなっていくかというところは、冒頭申し上げたので割愛させていただきます。

まず、少子化対策の話について、合計特殊出生率が低いという話をしました。その要因は、未婚化、晩婚化と言われています。なかなか結婚をされない方が多い。それから、晩婚化になりますと、第1子を産む年齢が高いので、第2子、第3子を産みづらいということがあります。

この未婚化、晩婚化を何とか解消したいということで、今度、能美市でも婚活をやります。8月26日にいしかわ動物園で婚活をやります。これは、ボラコンといいまして、今、日本ではやっているらしいです。ボランティアをやりながら、若い男女が交流を深めて愛をつぐんで結婚するという、こういうパターンだそうです。

今回のボラコンのキャッチフレーズが、「初めてのデートはいしかわ動物園」ということ、今積極的に宣伝させていただいています。

それから、U I ターンを促進させるという話をしました。能美市の魅力を先ほどいろいろ申し上げましたが、やはりUターン、Iターンを考えている人にその情報を届ける必要があるので、ことしからダイレクトメールを流す予定をしています。例えば能美市の魅力はこんなところですよ。それから、こんな就職口がありますよという情報を市内出身の高校生や大学生にPRすることもしていきたいと思っています。

それから、高齢者対策について、今、自助・互助・共助・公助というこの4本柱でいろんな政策をそれぞれ打っています。

例えば自助というのは自分でやるということですが、何しろ健康でいていただくということが一番ですので、健康づくりのためにいろんな政策をしています。例えばのみ活倶楽部や貯筋教室があります。またその担当の部署に聞いていただければ、こんなメニューがあるということをお伝えできます。

それから、互助というお互いに助けるということになれば、いきいきサロンや見守りネットワーク構築ということで、これは町内会長さんなどにいろいろご負担をいただきながらやっていることです。

それから、共助という面では、介護保険の制度、公助といえば、我々もいろんな支援をできるように相談体制を構築しており、介護、施設に入っていただくということではなく、地域で、もっと言えばご家族と一緒にあっていつまでも健康で幸せに暮らしていただけるようなことを複合的にやっていくということが今の能美市の政策でして、本当に高齢者の皆さんにも安心・安全に快適に暮らしていただけるように引き続きやっていきたいと思っています。

【中町民】

今後、10年後の未来ということで、今後10年を考えると、足腰の不自由なお年寄りがふえると思います。老夫婦で生活されるとか、それから免許証返納世帯がふえる。今後也大いにふえると思います。そこで、買い物アシスト制度の仕組みづくり、そういうものはいかがでしょうか。

それからもう1点、スーパーや量販店への注文販売、配達促進、それらを行うお店に対して何か応援する助成金の交付などはどうでしょうか

【井出市長】

これも公共交通の問題と同じ部類の話だと思います。こういったお声もたくさんいただいていることは間違いないわけであります。

実は、そういったお声を、高齢者支援センターというところが窓口になっており、まずご相談をしていただければということなのです。

今もたくさんの方からそんなお声を聞いておりまして、こんな状況だけでも何かないかというご相談をしていただければなと思います。

高齢者支援センターに行けない方へは、市の職員がご自宅まで出向いて、どんな状態ですか、どんなことをご要望ですかということをお聞きして対応をする体制になっています。

こんなパンフレットもつくってまして、「ア！これ、たすかるわ」というものです。「どんなことにお困りですか。」それに対して、「ここがサポートしていますよ」といったことがわかる一覧表になっています。こんなものをまた皆さんにご紹介できればなと思います。連絡先も書いてあるので、ご参考にいただければなと思います。

それから、今の能美市の商工会さんが新しい冊子をつくっており、その冊子の中には能美市商工会さんに加盟されているお店が出ています。例えば配達は無料、あるいは買い物料金の何割ですということが書いてあります。

ごらんいただくと、「こんな店も使えるんやな」、「ここやったら配達してくれるんやな」ということがわかります。

それから、買い物支援ということで、商工会女性部さんがピンクのジャンパーを着て、主に辰口地区で活動されています。先日、NHKの朝の番組に全国放送で登場されました。根上地区の場合は、周囲にお店がないというところはそんなに多くないと思いますが、そんなことも辰口地区を中心にやっています。

それから、免許証の返納を促すということですが、今免許証の返納をいただいた方には、のみバスのフリーパス券がついてきますし、シルバーパスというのがあり、70歳以上の方が購入でき、3カ月フリーで使えるのが4,000円というものがあつたのですが、65歳以上に年齢を引き下げました。65歳の方がなかなか免許を返納するという事はないのですが、そんなこともやっています。

大手スーパーさんへの助成という話は、これ、なかなか地元の商店さんがおられるものですから、大手スーパーに助成するという事になると、どうしてもやっぱり地元の商店街の売上げが下がらないかなということもちょっと心配なので、まずは皆さんにも地元の商店のご利用をお願いしたいなと思っています。よろしくお願いします。

⑥ 消防・防災体制の強化

【司会】

次は消防・防災体制の強化でございます。

【大浜町民】

「災害は忘れたころにやってくる」という言葉がございますように、能美市ではありがたいことに自然災害が少ないです。そんな中で、消防・防災の市民意識が希薄なような気がいたします。

自分の町はどうかということですが、大浜町では年1回の自主防災訓練を実施しています。ただ、住民の3割程度ぐらいしか参加しておりませんので、何とか意識を高めることができるといふふうに思います。これからの10年で必要なことだと思いますし、何とか習慣づける意味でも、例えばスポーツフェスティバルで防災グッズによる競技をするなど、これは何か以前やっていたようなことも聞きますので、そういった折々に何かやっていくということも必要ではないかなと思います。

【井出市長】

まさにおっしゃるとおりです。冒頭、能美市は自然災害が少ないというお話もしましたが、実は今月に入り、皆さんの携帯電話がすごく鳴り響いたことを覚えていらっしゃいますか。実は1日と4日、2回鳴りました。これは土砂災害警戒情報というのが発表されたためです。

大雨が降って、それで能美市内の辰口地区の山間部に、土砂災害が起こる危険性があるよということを気象庁と石川県が判断して携帯電話を鳴らしたということです。

私も、大雨になるなどは思っていましたけれども、それほどまでの状態になると思っておらず、1日は土曜日でしたが、急遽、市の幹部が市役所に集まり、災害対策本部を設置して、状況をずっと見ていました。4日も同じで、避難勧告を出すか出さないかということとをずっと協議をしていました。

結果的に、避難勧告も出さずに済みまし、結果的に大きな被害もなかったのが安心しましたが、本当にいつ自然災害がやってくるかわからないということで、備えを十分にしなければならない。そんな中で、防災士をどうしていくのか、それから避難訓練をどう充実させていくのかということは大変重要な課題だと思っています。

実際に調べましたら、能美市には74の町会・町内会がある中で、自主防災組織が設立されているのは64ということで、まだできていないところもあります。

実際に、防災訓練をやったところもそのうちの48ということで、まだまだ防災意識を高めていかなくてはならないなということが数字でも見てとれます。

そんな中、先日、防災フェスタを開催しました、防災センターができて1年というのを機会に、市民に防災意識を高めてもらう、それから、防災センターの役割を知ってもらうことを目的に、それから消防士が格好いいパフォーマンスをしてくれましたが、それを見て、子供たちの中から一人でも消防士になってもらえるような人が出てくれればという思いもあり、ああいう防災フェスタをやりました。

ことし、大変好評だったので、ぜひ来年もやりたいなと思いますが、市民の皆さんに楽しんで、何か見て感じて防災というものを身近に感じてもらって意識を高めていきたいなと思います。

それから、石川県で防災士倍増計画というのを今やっています、能美市もその防災士になる人をもっとふやしていきたいなという思いがあります。例えば防災訓練をしたときに、専門家に出席いただいて講演をしてもらったり、何か補助事業をやったり、それから

町内会長さんと一緒になって、避難訓練、防災訓練を実施したりとできるだけ多くの皆さんに参加していただけるような、そんな取り組みもやっていきたいなと思っています。

【山口町民】

防災無線の全戸取り付けということで、私どもの6月21日以前の防災無線の実施状況としましては、78.6%です。これは町内にある県営アパートなどアパート関係は除いております。45件まだついていません。

防災無線を町民への連絡網として使用していますが、取り付けされていない方へは緊急時の伝言が伝わらないというのが現状です。全町民への連絡手段の一つである防災無線の役割を再認識し、能美市民全戸に取り付けいただけるような施策を検討していただき、能美市として全戸取り付けに向けた連絡網の整備計画をお願いしたいと思います。

また、緊急時に町内にあります屋外のスピーカーも避難場所から遠隔操作できるようにもできないかなという考えを持っています。

また、新しく町外から住民異動をされるときに、それぞれ辰口庁舎であるとか、寺井、根上の窓口で手続をとられますが、そちらのほうでは防災無線のお話が最近越してこられた方に説明がなかったということもあります。説明したかしないかという、そういうチェックをしていただいて、漏れのないようにしていただきたいなと思います。

【井出市長】

まず、説明がなかったということに関しましては、きちんと対応するように担当の部署に申し伝えたいと思います。

この防災無線の件ですが、県内の整備状況を調べましたら、ほとんどの市、町が整備中です、今からやりますという状況で、能美市も整備を進めています。

なかなか普及率が高まらないというのが実態であり、町内会長さんの皆さんのご苦勞も拝察申し上げているところでもあります。

ちなみに、能美市全体の防災無線の普及率というのは91%です。防災無線をつけてくださいよということをお願いしても、そんなもの要らない、携帯電話があるということと言われるということもあり、やっぱりそれを何としなければならぬという思いの中で、さっきご指摘されたような、市の窓口のほうできちんと対応するというのを徹底していきたいという思いです。

それから、「広報能美」の特集で取り上げて、防災無線の重要性を掲載したいなと思っ

ています。9月1日が防災の日であり、9月号で防災無線の重要性や、ちゃんとつけてくださいよということを掲載したいなと思います。

それから、ホームページや「能美チャンネル」でも何か取り上げてもらえないかということもこちらのほうからテレビ局に一度相談をしてみたいなと思ってもいます。それから防災士さんのご協力もいただいて、防災士、防災無線の普及にきちんと取り組んでいきたいと思います。

【浜開発町民】

防災無線というのは、当然、災害時期に活躍するものですが、停電になった場合、どういう形になりますか？ 使えます、使えませんか？

【井出市長】

電池が入っているので使えます。

【浜開発町民】

そうです。多分誰も電池はどれくらいで交換するかということ、そして電池が入っていることを知らないと思います。

先日、うちの町内で、電池なくなったよ、消えたよということがありました。だから、その電池を例えば2年ごとに必ず交換しなさいとか、そういう説明は多分一回もなかったと思います。私の聞き漏らしだったら済みませんけれども、そういう宣伝もちょっとしてほしいなと思います。

【井出市長】

ありがとうございます。また、今度、「広報能美」に記載させていただきます。

⑦ 人や自転車に優しい道路の整備について

【司会】

次のテーマは、人や自転車に優しい道路の整備についてです。

【浜町民】

人や自転車に優しい道路の整備ということで、これに派生する課題もありまして、大まかに3点についてお伺いします。

まず、通学路の交通安全の確保ですが、浜町道林線ということで、根上中学校の後ろに商店があり、その前の信号十字路、ここから道林町の消防倉庫、これは突き当たりなんで

すが、この間の通学路の学童の交通安全に関して、学校やP T Aのほうから心配の声があります。交通規制はできないかという声もあります。

以前は、この道路を整備して拡幅するというような計画もあったようですし、現在、グリーン色に歩道部分を塗装して、歩車道の分離を明確にする予定だと聞きました。これがいつごろになるのかということ、それから最近、よく白線が消えたままになっています。将来にわたって通学路の安全確保についてお考えをお聞かせください。

さらに、このことから、通学路を変更してはどうかという話がありました。人目の少ない区間もあり、ちょっと慎重に対応する必要があると思っております。この交通安全のほかに、特に人目の少ない道路、地区での犯罪防止ということです。県内でも不幸なことがありました。防犯カメラを設置してはどうかと思うのですが、この設置奨励策についてお考えはおありでしょうかということです。隣の白山市等の推進について新聞で読みましたが、能美市のほうではいかがでしょうか。

最後に、関連しますが、通学路の街灯についてです。能美市では蛍光灯の交換の費用の補助をなくして、LED化推薦に力点を置いています。指定通学路の街灯のLED化推奨策についてお伺いします。今までLED化したところはどうなるのかという話もあるかと思いますが、ひとつこれから、気の早い話ですが、冬季になると体育館のほうからクラブ活動の帰りの生徒さんたちが暗い中を帰ってくるというような状況もありますので、そういう点もひとつよろしくお願ひします。

【井出市長】

今おっしゃった道について、この間も私も通らせていただくと、本当にスピードを出して通る車が多いですね。恐らく木曾街道に信号があるので、それを避けるように、信号がないからビューンと行く車が多いのだろうなと思って見ていました。

町内会長さんとかP T Aの方にあそこに立っていただいて、見守り隊やっていただいているという話も聞いています。本当にありがたいなと思っているところでもあります。それから、以前、学校長が周辺の企業さんを回って、スピードを出さないでほしいとお願いに回ったという話も聞いています。

それで、グリーン色に塗られるというお話ありましたが、それに該当する話を聞いていなかったもので、また改めて町内会長さんにお聞きして、どこがそんな話をしていたのかということをお個別にまた聞かせていただきたいと思います。

そんな中で、規制ができないかという話ですが、エリアの中は30キロ以上のスピードを

出してはいけないという規制をするゾーン30というのがあります。

今、能美根上駅と根上中学校のエリアをゾーン30に指定するというので、9月末までにこのゾーン30という文字を地面に書きます。もし浜町さんのほうでも、いや、うちのところもゾーン30にしてほしいという話になれば、担当課に、一度ご相談いただければと思います。そうすると、警察と話をしてどうするかというようなことになるのだと思います。

ただ、今度、ゾーン30にすると、そこを歩く人にとってはいいのですが、自動車で走る人にとっては、何でゾーン30にするのかというようなことにもなるので、多くの方々のご意見を聞いて、警察と相談しながら最終的に決まっていくということですので、一度ご相談いただければと思います。

【浜町民】

企業さんのご意見も必要ですね。私らは企業のおかげで潤っているところもあるので、正直なところ。

【井出市長】

それから、防犯カメラの件です。これは能美根上駅には13台あるようです。録画の実態も調べていると、20日分データが残っていて、上書きで保存していくようです。

ほかの市町では全部ではなく、一部を補助する制度があるようです。今のところ、その防犯カメラをつける、その制度を設けるということは頭の中になかったのですが、もしこうやってタウンミーティングを重ねていって、多くの皆さんから防犯カメラつけたほうがいいのではないかとのご意見が多くなってくれば、またどんな制度がいいのかということを考えてみたいと思います。

それから、LEDの街灯の件は、ご存じだと思います。また、ここはやっぱりつけてもらわないと困るということであれば、担当課におっしゃっていただければ、そちらと相談して必要なところにつけていくこともしていきたいと思います。

【浜町民】

通学路には特に補助金をふやすというわけにはいかないのですか。

【井出市長】

今のところそういう予定はなくて、恐縮ですが、よろしくお願いします。

【中町民】

通学道路の表示をしてほしいです。この道は通学道路ですよという。通学路というのは、

各学校で決めており、通学道路を通ってくださいと子供に言っているみたいですが、大人のほうはわからないという現状があります。通学道路の派生的な効果として、道路を走る自動車が少しはゆっくり走ってくれるかなと思います。

【井出市長】

はい、わかりました。ちょっと一回調べてみます。現状もわかりました。

【中町民】

朝は見守り隊で小学校の裏に立っていますが、雨の日は子供を車でいっぱい送り迎えしているみたいです。今はいいのですが、冬場になった場合、除雪があります。特に小学校の南側は小学校の1、2年生が多いです。だから、歩道に除雪した雪があるので、私らが行くと、カーブのところなどはスコップを持っていかなければなりません。中学生も通るし、小学生も通るといことで、道路に飛び出す子も多いです。除雪に関してまだ時間があるので、何か検討してもらいたいと思っております。

【井出市長】

承っておきます。しかし、ご存じだと思うのですが、歩道は地元の皆さんにお願いするというのが実態になっています。市の職員も、朝雪が降るとパトロールに出て、たくさん雪がたまっていると、その除雪を請け負っている会社のところをお願いをしに行ったり、危ない箇所のところを特に重点的に見守っていたりしています。結構、市の職員も出払っており、それから業者さんも道路をやるということになっているので、なかなか歩道まで手が回らないというのが実態です。ただ、除雪機を皆さんにお貸しする仕組みがあるので、なかなか進まないということも実態だと思いますので、ご要望として承ります。

⑧ スポーツの振興

【司会】

次のテーマは、スポーツの振興です。

【山口町民】

能美市には、スポーツクラブが少なく、現状では小松市のほうが多く感じています。今ちょうど子育てのときなのですが、小松市のほうが充実しているので、小松のほうに通わせようかなってということで迷っている人が自分たちの世代では多いです。

もしかしたら、能美市のほうでいろんなスポーツなど団体があるのかもしれないのですが、現状、根上のほうしか自分は知らないなので、もしそういういろんなスポーツ、各方面、

寺井、辰口でやっているのであれば、もっと知ってもらえるような形をとってもらえると自分たちもいろいろ体験もできます。親同士も自分は根上にしか知り合いとかはいないのですが、辰口、寺井方面の親同士が積極的に仲よくなれば、子供たちもまた能美市がよくなるのではないかと思います。あと、スポーツの大会など、小松市みたいな大会を年に何回か開催してほしいそうです。

【井出市長】

私は、息子が3人いるのですが、野球をやったり、空手をやったりしていたので、そのときの思い出も多くあり、おっしゃることはよくわかります。

まず、クラブというのは、ご自身がやられるクラブじゃなくて、お子さんがやられるというクラブですよね。調べたら、数だけですが、能美市には45あって、小松が23ぐらいしかないということです。具体的には何のどのクラブでしょうか。

【山口町民】

いや、うちは女の子なので、女の子がやるスポーツっていうと、根上だとバスケットしかわかりませんでした。小松ではバドミントン、バレーボールなど、いろいろちょっと調べたらあったのですが、能美市のほうはあんまり出てこなかったのが全然知りませんでした。ちょっと調べ方が悪かったのかもしれないですけど。

【井出市長】

いやいや能美市はバレーボールもバドミントンもありますが、案内の仕方も悪かったのでしょう。このすぐそこに担当課がありますから、もしお時間があったら寄っていただければと思います。それから、小松みたいな大会というのは？

【山口町民】

小学校の校下単位で、要はここであれば浜小校下、あと寺井へ行けば、粟生小など、何か校下対抗の何か大会とかできないかなということです。

【井出市長】

スポーツフェスティバルでは根上地区やっていらっしゃいますよね。

【山口町民】

そうですね。それは町単位なので、校下単位でできないかなと思います。小松では校下単位であるそうです。もっと大きな大会が。

【井出市長】

能美市全体を対象にして。浜小校下、福岡小校下、寺井小校下対抗の能美市全体を対象

にしたスポーツイベントをやったらどうかといことですね。私もやりたいのですが、ここにも町内会長さんたくさんいますけど、どうですかね。

【市民】

校下の人数が違うでしょう。

【市民】

競技スポーツをやるのか、それともレクリエーションスポーツをやるのかでも違ってくる。町民の融和をとということで今はスポーツフェスティバルをやっているはずなので、そこはどうなるのか、昔は競技というところが前に出ていました。

【井出市長】

なるほど。競技なのか、いわゆる親睦を深めるためのイベントか、どちらですか。

【市民】

競技です。

【市民】

能美市民体育大会というと、高校生以上ですよ。

【市民】

今のお話でしたら、中学生などの大会が欲しいということですね。

【井出市長】

それなら、また後から個別に教えてください。私も能美市全体の親睦を深めるような、そんな大会もあってもいいのではないかと考えています。

⑨ 歴史・文化・伝統の継承等

【司会】

最後のテーマです。歴史・文化・伝統の継承等でございます。

【大浜町民】

歴史・文化・伝統の継承ということで、大浜町では秋祭りでは、各種団体、特に壮年団の努力によりまして少しずつ現在は盛り上がってきております。

かつてスポーツ少年団と一緒に活動した子供たちも成人して壮年団のみこしに参加してくれています。

他の地域でも祭り等、歴史・文化・伝統の継承に苦勞なさっていると思いますが、私のほうから何かとは申しませんが、少し行政もお手伝いしてもいいのではないかなと、今後

10年の中で考えていただければありがたいということで、お願いします。

【井出市長】

私も能美市寺井町で奥野八幡神社という神社があって、秋祭りがあって、厄年になった人と町民がみんなで担ぐことになっています。最近、厄年になった青年団の人がなかなか担ぎません。本当に不思議だなと思います。

祭りを維持発展させるというのは本当にご苦労されているのだなということは、私も肌身で実感しています。

それが行政でどうやるのかということになると、なかなか辛いものがあります。市長の立場で普通にお答えを返すということになると、例えば公民館の活動補助金を出しています。あとは郷土保存のためにその協会に出したり、文化協会には今38団体ありますが、その会員数に応じて補助金を出したりしています。何とか皆さんの中でやりくりしてもらえないかと思います。

ただ、太鼓が壊れたとか、みこしが傷んだという話になると、宝くじの助成金を使えますので、そんなことも活用しながら、大浜町のさらなる盛り上がりをお願いできないかなと思います。よろしくお願いします。

【大浜町民】

思いは伝統的なところを、今子供たちも壮年団も努力しているというところで、その伝統というところを少しご理解いただいて、地域のほうに伝統の継承の部分で助成金を申請すれば出しますよと、そういったものも少し検討いただければなと思います。

各地域それぞれそういったことに努力なさっていると思いますので、残していくということが大切だと思います。

【井出市長】

はい。また検討させていただきます。

【司会】

最後に、井出市長のほうからきょうの感想も踏まえて、ご挨拶を申し上げます。

【井出市長】

きょうは遅くまで大勢の皆様にご参加いただきまして、本当にありがとうございました。やっぱりこの地区、地域といいましょうか、地区のいろんな皆さんの思いや、それから地域、地区ならではのいろんな課題も教えていただいたと思っています。

冒頭、人口の話をしましたけれども、今年の10月に能美市人口が5万人を超えたという

ことで、セレモニーをしましたが、実はその後、5万人をずっと切っていました。7月1日が4万9,972人になったのです。

それで、実はきょう、町会・町内会長さんの役員会というのがありまして、毎月そこで人口を皆さんにご報告をしているので、きょうの最新の人口を調べました。何と5万11人だったのです。久しぶりに5万人を超えました。

それで、理由を聞くと、まず7月6日の日が大安で、その日に出生届を出す人が多かったです。そして、7月7日、七夕の日、この日に婚姻届を出す人が大勢いたということで、5万人を超えたということです。いろんな要因で5万人を超えるなということを改めて感じました。毎日七夕になれば、どんどんふえるのではないかと思いましたが、そんなわけにもいきません。5万人を超えたといえども、冒頭申し上げたように、合計特殊出生率は低いわけで、やはり未婚化、晩婚化を解消し、そして移住・定住を促進していくために、引き続き能美市の魅力を発信していきたいなとは思っています。

ただ、それは私一人だけでは何にも効力がないわけで、やはり市民の皆さんお一人お一人が能美市のことを好きになっていただいて、そして能美市の魅力を発信していただくということが一番の効果があると思っています。皆さんがそう感じていただけるように、これからも一生懸命能美市の発展のために頑張っていきたいと思っていますし、それを支えていただくのはまさにこのタウンミーティング、皆さんのご意見になろうと思っています。

冒頭申し上げました、きょう限りではございません。来年もやります。それから、市役所にもおりますし、このあたりを歩いているときもあります。本当に気軽にお声がけをいただいて、じっくり膝を交えて市の発展のために意見交換もさせていただきたいと思いますので、今後ともよろしく願いを申し上げ、御礼とさせていただきます。どうもありがとうございました。